



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年8月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ベリテ

コード番号 9904 URL <http://www.verite.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO

(氏名) 平野 和良

問合せ先責任者 (役職名) CFO

(氏名) 米畑 博文

TEL 045-415-8821

四半期報告書提出予定日 平成26年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	1,747	△22.4	△125	—	△151	—	△164	—
26年3月期第1四半期	2,251	1.5	△42	—	△66	—	△58	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	△6.03	—
26年3月期第1四半期	△2.14	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
27年3月期第1四半期	11,165	—	6,883	—	61.6	252.94
26年3月期	11,115	—	7,045	—	63.3	258.88

(参考)自己資本 27年3月期第1四半期 6,883百万円 26年3月期 7,045百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
26年3月期	円 銭 0.00				
27年3月期	0.00	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,000	△8.0	240	0.0	100	400.0	40	△73.7	1.47

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注)当社では年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期(累計)の業務予想を省略しております。詳細は添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (1)経営成績に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	27,230,825 株	26年3月期	27,230,825 株
27年3月期1Q	17,469 株	26年3月期	16,989 株
27年3月期1Q	27,213,514 株	26年3月期1Q	27,216,730 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業務見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (1) 経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第1四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(セグメント情報等)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(平成26年4月1日から平成26年6月30日まで)におけるわが国経済は、政府及び日銀の積極的な経済・金融政策の推進による公共投資の増加や企業収益の改善が見られるなど緩やかな回復基調で推移致しました。

宝飾小売業界におきましては大型催事の売上は堅調で、当第1四半期累計期間後半においては、多くの催事におきまして前年実績を超え復調の動きが見られました。一方で店頭販売につきましては、特に平成26年4月に施行された消費税率改定後の反動により消費が落ち込むなど不安定な推移となりましたが、ここきて持ち直しの兆しを見せ始めております。全般的な回復傾向としては緩やかなものであり、今後の本格回復が待たれる状況になっております。

このような経営環境の中、当第1四半期累計期間におきましては、「QIREINI(キレイニ)」ブランドのより一層の市場への展開を始めとした当社店舗による販売強化を推進するとともに、新しい催事ブランドと致しまして2つのブランドを立ち上げてまいります。それは「ベリテダイヤモンド・クラブ」メンバー様への限定コレクションがその第一になります。

当社は70余年の歴史の中で、ジュエリーをご愛好される多くのお客様と共に、ジュエリーの輝きの魅力と、その輝きに満たされる人生の喜びを追及してまいりました。日頃より当社をご愛顧頂いているお客様への深い感謝の想いと、お客様のご要望に寄り添いながら世界中から最高の一品をお探ししたいという私共の情熱を、上級メンバー様にご案内させていただくものとなっております。

新しく立ち上げる催事ブランドの第二は、リフォームを超えるカスタムオーダーでジュエリーに新たな資産価値をつくるためのブランドになります。一般的なお直しはもとより、ジュエリーをより美しく輝かせるための補正やリメイクなど、お客様のご意向に寄り添い1点1点丹念な対応を目指し、ジュエリーに新たな資産価値を作り出していこうとするものでございます。

店舗面におきましては、平成26年4月に大阪市にオープンした三井アウトレットパーク大阪鶴見内に1店舗、その他既存店舗の改装、各店舗主催による地域展開催等を実施してまいりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は1,747百万円(前年同四半期比22.4%減)、営業損失125百万円(前年同四半期は営業損失42百万円)、経常損失は151百万円(前年同四半期は経常損失66百万円)、四半期純損失は164百万円(前年同四半期は四半期純損失58百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における資産合計は11,165百万円となり、前事業年度末に比べ49百万円の増加となりました。これは主に、短期借入金の実行及び営業債権の回収促進によるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債合計は4,281百万円となり、前事業年度末に比べ211百万円の増加となりました。これは主に、短期借入金の実行及び営業債務の決済、法人税を始めとする納税によるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は6,883百万円となり、前事業年度末に比べ161百万円の減少となりました。これは主に、四半期純損失の計上による利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の通期の業績予想につきましては、今後修正の必要が生じた場合には速やかに開示いたしますが、現段階においては、平成26年5月13日公表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,533	1,869
受取手形及び売掛金	1,336	1,218
商品	5,927	5,944
短期貸付金	98	98
その他	632	479
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	9,527	9,610
固定資産		
有形固定資産	361	372
無形固定資産	12	11
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,154	1,108
その他	73	76
貸倒引当金	△14	△14
投資その他の資産合計	1,213	1,170
固定資産合計	1,588	1,554
資産合計	11,115	11,165
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	772	692
短期借入金	2,700	3,100
未払法人税等	82	19
返品調整引当金	4	2
その他	398	353
流動負債合計	3,958	4,167
固定負債		
ポイント引当金	29	30
その他	82	83
固定負債合計	111	114
負債合計	4,070	4,281
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,972	3,972
資本剰余金	3,928	3,070
利益剰余金	△857	△164
自己株式	△3	△3
株主資本合計	7,040	6,876
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4	6
評価・換算差額等合計	4	6
純資産合計	7,045	6,883
負債純資産合計	11,115	11,165

（2）四半期損益計算書
（第1四半期累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年6月30日）	当第1四半期累計期間 （自平成26年4月1日 至平成26年6月30日）
売上高	2,251	1,747
売上原価	1,124	845
売上総利益	1,127	902
販売費及び一般管理費	1,169	1,027
営業損失（△）	△42	△125
営業外収益		
雑収入	10	1
その他	3	0
営業外収益合計	13	2
営業外費用		
支払利息	22	21
支払手数料	14	5
その他	1	2
営業外費用合計	37	28
経常損失（△）	△66	△151
特別利益		
原状回復費用戻入	26	—
受取補償金	8	—
特別利益合計	35	—
特別損失		
店舗撤退損	12	—
特別損失合計	12	—
税引前四半期純損失（△）	△44	△151
法人税、住民税及び事業税	13	12
法人税等合計	13	12
四半期純損失（△）	△58	△164

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は平成26年5月29日開催の取締役会決議に基づき、同日をもって資本準備金の減少および剰余金の処分を行いました。

1. 資本準備金の額の減少

会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金を減少し、その他資本剰余金に振替えております。

①減少する準備金の項目及びその額

資本準備金	652,214,000円
-------	--------------

②増加する剰余金の項目及びその額

その他資本剰余金	652,214,000円
----------	--------------

2. 剰余金の処分

会社法第452条の規定に基づき、上記(1)で振替えた後のその他資本剰余金をさらにその他利益剰余金に振り替え、欠損を解消しております。

①減少する剰余金の項目及びその額

その他資本剰余金	857,277,930円
----------	--------------

②増加する剰余金の項目及びその額

その他利益剰余金	857,277,930円
----------	--------------

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

当社は、第69期3月期(平成24年4月1日～平成25年3月31日)までは宝飾事業及びブランド事業の2種類のセグメントを有していましたが、第69期3月期末に当該ブランド事業におけるフランチャイズ契約の合意解約したことを契機に、販売体制の見直しを行なった結果、宝飾事業の単一セグメントに変更しております。このため、当第1四半期累計期間よりセグメント情報の記載は行なっておりません。

II 当第1四半期累計期間(自平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

当第1四半期累計期間は宝飾事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。